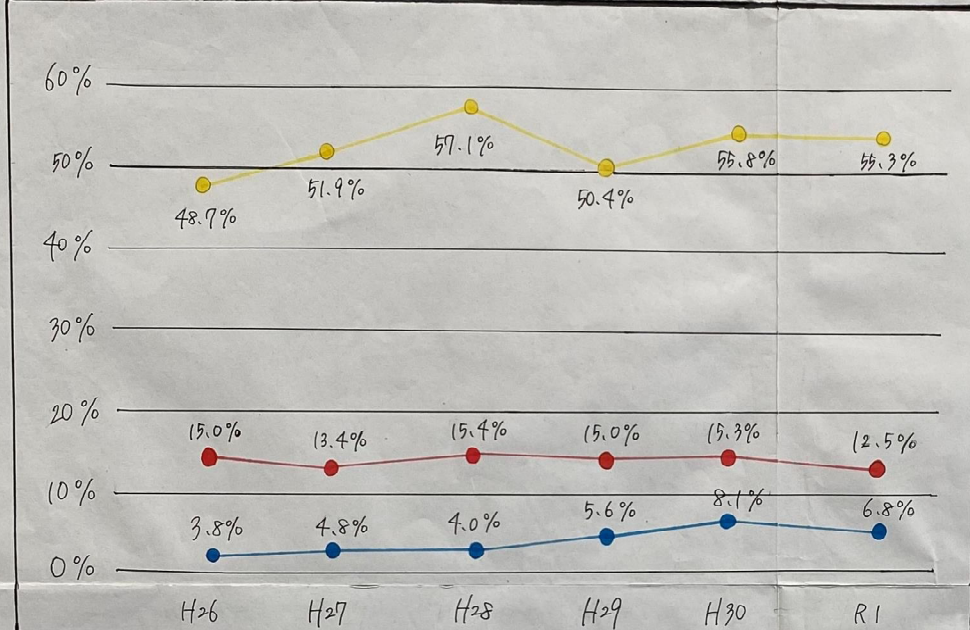


高校生が本を読まない

件について

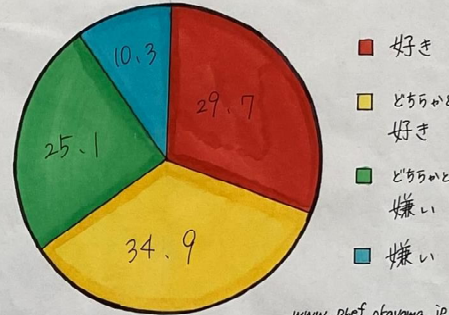
最近本の話をする相手に減っている気がする。
 でもそもそも高校生の中で本が好きな人ってどのくらいいるの？
 そんな日常の疑問を調べてみた。

不読率の現状 (1か月に読んだ本が0冊)



読書の意識

高校生の読書の好き嫌いの割合



学年が上がるにつれて不読率の割合が高くなっている。

小学生 (4~6年生) 中学生 高校生
 (子供の読書活動に関する現状と動向、学校読書調査を基に作成 北海道教育委員会)
www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp

不読の原因

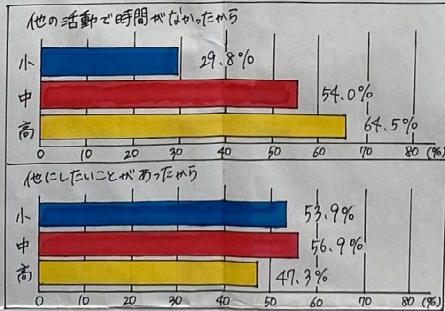
① 学校で読書機会の減少

全国一斉読書活動の状況 (学校図書館の現状に関する調査)

	学校数	実施学校数	割合
小学校	19607校	19038校	91.1%
中学校	9427校	8341校	88.5%
高等学校	3509校	1499校	42.7%

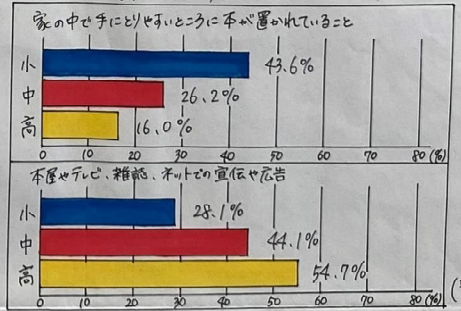
② 他の活動で時間が無い

現在本を読まない理由 (複数回答) 上位2つ

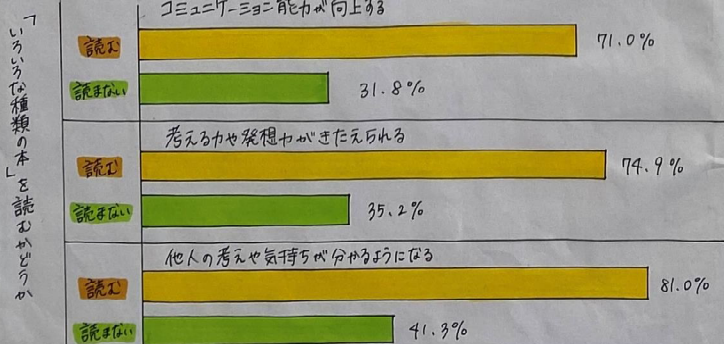


③ 本を読むきっかけの減少と変化

本を読むきっかけになっていると思うこと



読書の効果



まとめ

近年 高校生の不読率が問題視されている。読書が好きなという高校生の割合は 60% を超えているにも関わらず、小学生、中学生と比べて 不読率の割合は圧倒的である。その原因としては、小学校や中学校で取り組まれている図書授業や朝の読書の時間が高校では無いことや、部活や勉強、趣味などで時間が無いこと、本を読むきっかけが減少していることがあげられる。しかし、読書をすることで他人の考えや気持ちや考えが分かるようになる、コミュニケーション能力の向上につながったり、多くの知識を取り込むことで考える力が養われる。このような効果は 大学受験を控える高校生にとって 必要なものだと考える。高校生に積極的に本を読んでもらうことが大切である。